



発行日：平成 25 年 9 月  
編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

### ◆第 12 回海部会WGを開催しました！

9月9日に第12回海部会WGを開催しました。WGでは、三河湾内の4地点で水質調査（水温、塩分、DO（溶存酸素）、クロロフィル）、底質調査を行い、その後、調査結果について、ふりかえりを行いました。



日時：H25年9月9日(月) 9:10～15:40

活動場所：三河湾内

会議場所：愛知県水産試験場 2F 研修室

参加者：21名（事務局含む）

※調査には、国土交通省三河港湾事務所のご協力を得ました。

### ◆主な活動・会議内容

#### 1：三河湾内の4地点で、水質調査を行いました。



三河湾内の4地点で、水質調査（水温、塩分、溶存酸素、クロロフィル）、底質調査を行いました。前週に、湾内の貧酸素水塊は崩れてしまったそうですが、湾奥部では、貧酸素の状況を観察することができました。



船に乗り込んで出発です



多項目水質計を用います



2m深毎に計測します



底質も採取します



手ざわりやにおいをチェック

※調査結果は裏面に記載しています。

#### 2：愛知県水産試験場にて、ふりかえりを行いました



調査後、三河湾内の4地点の水質調査結果、貧酸素水塊の様子について、ふりかえりを行いました。また、ごみ・流木調査の本調査に向けての最終確認、流域圏一体化の取り組みについての意思確認を行いました。

##### 【主な内容】

- 調査の結果、湾奥部の調査地点の底層では貧酸素状態が確認され、底質も硫化物が多い状態であった。湾の外側は、酸素環境も良く、底質の状態も良好であることが、メンバーで共有された。
- ごみ・流木調査の本調査は、出水後、事務局でごみ・流木の状況を把握し、メーリングリストにて、調査場所・時間を周知することを確認した。
- 流域圏一体化に向けて、いい川づくりワークショップに参加し、流域圏の取り組みを発表することに、海部会メンバーの同意を確認した。

※話し合い中のご意見は裏面に記載しています。



### ◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 西原、専門職 後藤

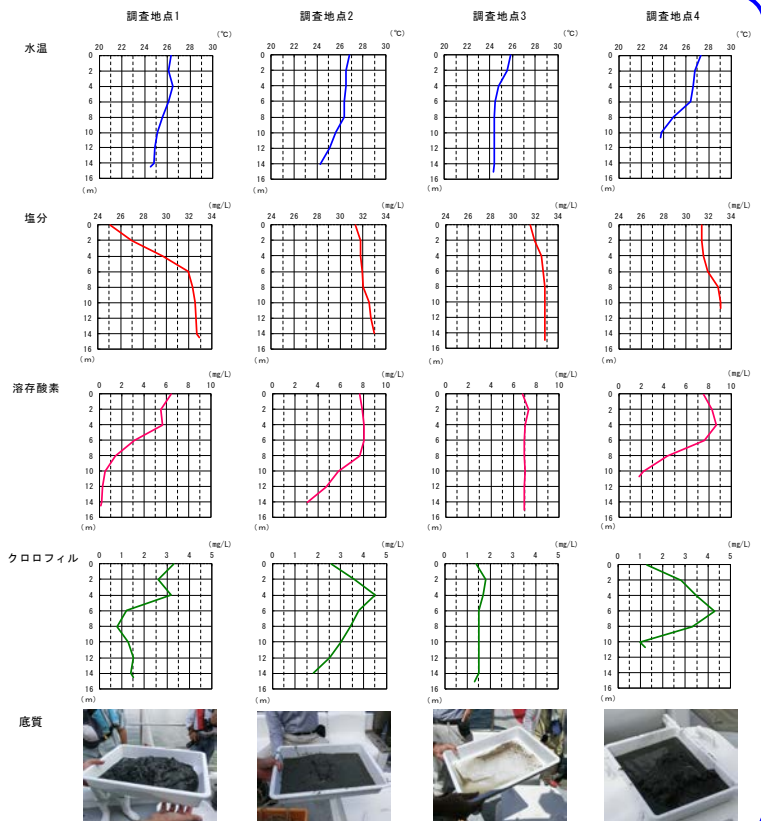
TEL 0532(48)8107/FAX 0532(48)8100

\*矢作川に関する情報は、矢作川流域圏懇談会メーリングリスト (yahagigawa@ijinet.or.jp) までお送りください。



## ◆水質調査の結果

- 湾奥部の調査地点①、調査地点④では、底層で貧酸素状態（溶存酸素 2.5mg/L 以下）が確認された。地点①では、底質も硫化物が多いヘドロ状であった。
- 湾の外側の調査地点では、酸素状態も良く、底質の状態も良好であった。地点②では、ゴカイも確認された。



## ◆話し合いでの主な意見 (●意見 ▶回答)

### ① 三河湾水質調査のふりかえり

- 今日の観測では、貧酸素水塊が解消されていたが、湾奥の最下層の溶存酸素の値はけっこう低かった。5m以下の浅場の生き物がたくさんいる場所に、貧酸素水塊の影響が出ないように対策を考えなければいけない。(鈴木)
- 硫化水素を発生する底質の改善も検討しなければならない。湾奥は有機物が堆積してヘドロ状になっていたが、酸素が十分にあれば、ヘドロは硫化物を発生しない。(石田)
- 湾の西部と東部の水深が異なること、東部の港の水深が低いことが貧酸素水塊の原因のひとつとなっている。(石川)
  - ▶ 防災の視点からも湾奥に重要な港があり、大きな船を集めることには問題がある。発想の転換が必要なのではないか。重要な港と重要な浅場が隣接する場所として、何か良い知恵が出れば良いと思う。(青木)

### ② ごみ・流木調査本調査に向けて

- 9月中に大きな出水があった場合、事務局で巡視を行い、調査場所を選定する。調査場所と時間はメーリングリストでメンバーに周知する。(西原)
  - ▶ まずは、集まれるメンバーだけでも集まって、実施してみるしかない。(青木)

### ③ 流域圏一体化に向けて

- 市民会議では、いい川づくりワークショップに、各部会から代表者を出す話だった。(高橋)
  - ▶ 取り組みについては、どこかで発表していくべきだと思う。(青木)



ふりかえり 会議後にご記入いただいた、ふりかえりシートの内容の一部をご紹介します。



### よかったことと思うこと

見て、匂いを嗅いだことで実感ができた。深刻な状況が分かった。/場所による水質の状況が分かった。/実際に海を見てもらってよかった。

### よくなかったと思うこと

意外に状況がよく、危機的状況が伝わりにくかった。/過去のデータと比較したかった。/調査を自分で体験できるプログラムだとよかった。

### 今後取り組んでいきたい活動など

山、川部会との交流。/行政サイトの個人意見が出る場づくり。/部会の現場を持って長く取り組むことができれば、面白いのでは。

## 今後のスケジュール (予定)



次回 海部会 WG を 10月7日(月) に開催します。矢作川河口干潟において、干潟生き物調査を実施します。

